



平成24年度久慈市成人式 久慈河南地区

久慈市成人式

1.12日 14時～

▶会場…アンバーホール
▶対象…平成5年4月2日～平成6年4月1日までに生まれた人

- 11月1日現在で市内に住居登録している対象者には12月上旬に案内状を送付します。
- 市外に住居登録をしている人で、参加を希望する場合は、12月11日(木)までに下記にご連絡ください。

☎社会文化課 ☎52-2700

山形村に思いはせる 山形村誌第二巻が発刊

このたび、山形村誌第二巻「史料編」が発刊されました。江戸時代から新久慈市誕生までの山形村の歴史や古文書の解説を近世編と近現代編の2冊に分けて掲載しています。

山形総合支所の窓口、市立図書館で購入できるほか、電話・FAXでも購入の申し込みができます。詳しくはお問い合わせください。

▶価格…4,000円(二冊組)

☎山形総合支所ふるさと振興課 ☎72-2111 FAX 72-2848



NEWS 「寒次郎」くんにPR期待

久慈地方産ホウレンソウPRキャラバン



山内市長から宣伝部長の任命書を受け取る「久慈寒次郎」

10月16日、久慈地方産ホウレンソウPRキャラバン(久慈地方農業農村活性化推進協議会主催)の出発式が市役所で行われ、生産者など約30人が参加しました。

最初に、寒締めホウレンソウキャラクター「久慈寒次郎」くんを宣伝部長に任命。同協議会会長の山内隆文市長が任命書を手渡し、「ホウレンソウと地域全体の魅力のPRに活躍することを期待しています」とキャラバンを激励しました。

生産者を代表して北村喜美雄さんが「心強い宣伝部長と一緒に、ホウレンソウをPRしていきたいです」と力強く決意を述べました。

「寒次郎」くんは寒締めホウレンソウの振興のため、平成15年に誕生したキャラクターで、市出身の柔道家・三船久蔵氏をイメージ。特技は柔道で、締め技が得意です。久慈地方のホウレンソウ産地に活力を与えるような活動を行うため、今年度、同協議会が中心となって「寒次郎」くんの着ぐるみを製作。今後は各種イベントなどでPR活動を行います。

NEWS 身ぶり交え堂々と発表

市中学校英語弁論大会



3年生暗唱の部と自作の部でそれぞれ1位となった小田和樹さん(左)と嵯峨歌連さん(右)

10月7日、アンバーホールで市立中学校英語弁論大会が開催。学年ごとの暗唱の部と学年共通の自作の部に9校から31人が出場しました。

暗唱の部では指定された題材の中から1つを選択。また自作の部では自身の体験を通じて感じた学んだりと、これを英文にまとめ、生徒たちは英語を使った表現力や声の大きさ、発表の態度などを競いました。

演台に立つとマイクを使わずに会場に響く大きな声で発表する生徒たち。身ぶりを交えながら堂々と英語を話す姿に、客席からは大きな拍手が送られました。

閉会式で、菅野弘審査員長は「短い時間の中で表現方法を工夫した、すばらしい発表でした」と講評し、生徒たちの一層の成長に期待を寄せました。

各部門の第1位は次のとおり。(敬称略)

- 【1年暗唱の部】猿館美優(山根中学校)
- 【2年暗唱の部】播磨香鈴(夏井中学校)
- 【3年暗唱の部】小田和樹(宇部中学校)
- 【自作の部】嵯峨歌連(久慈中学校・3年)

SPECIAL TOPICS 「あまちゃん」の最終回をみんなで見る会

1/エンディングで会場から起る拍手 2/アキの似顔絵を持ち見入る参加者 3/ドラマの衣装で来場した子どもたち



あまちゃんに感謝

9月28日、連続テレビ小説「あまちゃん」が最終回を迎え、最終回をみんなで見る会がやませ土風館で開催。市民だけでなく、全国のファンから愛されたドラマの最終回を見ようと、会場には多くの人が集まりました。

100人以上が参加

市民や観光客など100人以上が集まった会場には、壁一面にウニの絵が貼り付けられ、「あまちゃん ありがとう」と書かれたボードが設置。「潮騒のメモリーズ」の衣装を着た子どもたちや、アキの似顔絵を持つて参加するファンの姿が見られました。

放送前のセレモニーで、山内隆文市長は「あまちゃんは、地域の魅力を全国に発信し、私たちに勇気を与えてくれました。地域の素晴らしさをあらためて多くの人が感じたと思います」と半年間の放送を振り返りました。

市民それぞれの思い

多くの市民がエキストラで参加した撮影や、ドラマの放

送を通じて、市民一人一人がそれぞれに思いを込めてきた「あまちゃん」。最終話の放送が開始されると、参加者は食い入るように画面を見つめました。放送中、時々涙を拭う人の姿や、エキストラで撮影に参加した人が「今映った」と喜ぶ姿が見られました。

ありがとうの拍手

ドラマの最後に「あまちゃん オープニングテーマ」が流れると、終了を惜しみつつ、ありがたの気持ちが込められた拍手が会場から沸き起こりました。拍手を送る参加者の表情は皆、晴れやかな笑顔でした。

放送終了後も多くの人がその場に残り、余韻に浸りながら、参加者同士ドラマの思い出に花を咲かせました。

INTERVIEW



あまちゃん大好き家族!
家族みんなで1日3回見ていました。子どもたちはドラマを見ないと宿題をしないくらいあまちゃん好き。最終回にはエキストラで出演し、しっかりと写っていたので、思い入れも特別です。
阿部キヌ子さん(右上)、友香ちゃん(左)、悠生くん(右)(川崎町)



すてきな久慈に気付いた
久慈が目されるきっかけとなったドラマが最終回を迎えて寂しいです。自分が住んでいる地域はすてきな所なんだと気付きました。この先も続きそうな結末だったので、ぜひ続きが見たいです。
中野百瑛さん(高校生海女クラブ)